

「日トルコ防災協力に関する覚書」（概要）

1 経緯

日トルコ首脳会談（２０１７年９月）、アクダー副首相の訪日（２０１８年４月）を踏まえ、防災分野における日本とトルコの関係を益々深めていくため、両国政府は災害予防や災害応急対応の分野における課題に対し、包括的な協力を推進するための協力可能な案件（別添「協力案件リスト」参照）について議論を重ねてきた。これを受け、両国は「日トルコ防災協力に関する覚書」に署名した。

2 内容

（１）現在及び将来の災害リスクを減らすため、両国の多角的な関係と協力を強化する。

（２）両国間で防災協力について定期的な意見交換を継続し、進捗状況の確認のための協議を開催する。

（３）両国は、協力計画の策定に継続して取り組むとともに、第三国や国際場裡における協力を拡大する。

（４）両国は防災分野に関係する民間企業の努力を支援していく。